

嚥下造影検査：説明と同意書

【病名・症状】 摂食嚥下障害 []

摂食嚥下障害とは食べ物や飲み物をうまく飲み込めなくなる障害です。様々な原因で起こり、誤嚥（気管内に飲食物が入ること）、誤嚥性肺炎、窒息、脱水、栄養障害などにつながる場合があります。

1.今回の検査目的： 現在の状況を把握し、症状改善に向けてのリハビリテーションにつなげ、その効果を確認することもできます。

2.検査の具体的な方法： レントゲンで写るようにバリウムを含んだゼリーやとろみ水、ゼリーのような食物を用いて飲み込みの様子を調べます。口からのど、食道へ食物がどのように通過するかなどをみて、どの部分に通過の障害があるかを確認します。誤嚥などの様子も確認します。

3.今回の検査に伴う合併症

①**誤嚥、誤嚥性肺炎：** 適切な食事を判断するためにやむを得ず患者さんにとって難しい食物ならびに量を摂っていただくことがあり、検査中に誤嚥が起こり得ます。まれに誤嚥による発熱、誤嚥性肺炎が起こることがあります。誤嚥が起こった場合はすぐに痰を出しやすくする体位をとって頂き、吸引などの対応を行います。

②**バリウムについて：** バリウム自体に毒性はありませんが、大量のバリウムが肺に入ってしまったと稀に肉芽腫性肺炎をおこすことがあります。

③**放射線被曝について：** レントゲンを使用しますので被曝を伴いますが、胃のバリウム検査の半分程度です。被曝によるリスクよりも、検査によって得られる情報の方が有用と判断したため行うものです。

4.費用について： 治療費は合併症が発生した場合も含め、健康保険の適応となります。

5.撤回と保留： 検査の説明を聞かれて、同意されない場合は保留や中止することも可能です。

以上、説明を受け納得しましたので同意し署名します。

_____年 _____月 _____日

患者氏名 _____

患者代理人氏名 _____ 続柄 ()

同席者氏名 _____ 続柄 ()

説明医師氏名 _____

同席看護師氏名 _____

※署名後、コピーして患者・家族に1部渡し、原本は入院録に保存